



Neb:O PopCot

ポップコット

取扱説明書

保証書付き

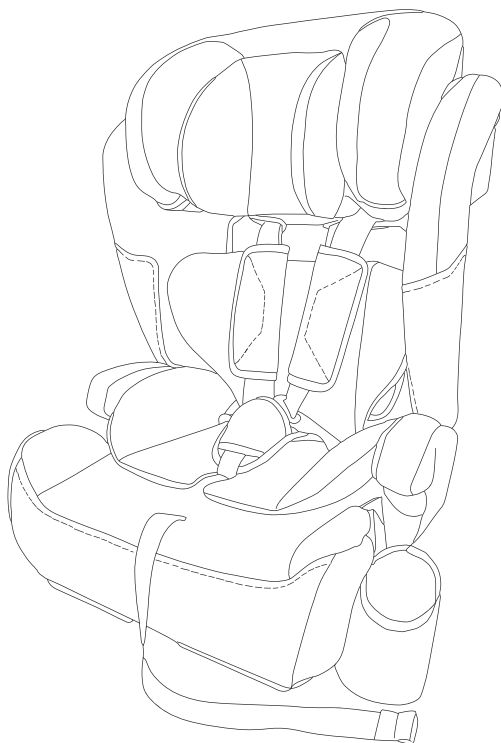
身長
76~150cm

月齢
15ヶ月~



i-Size 準拠

R129/03
76~150cm



ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート PopCot＜ポップコット＞」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。
お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケットで大切に保管してください。

- ・本製品はチャイルドシート基準である UN ECE R129/03 に適合しており、身長 76cm(尚且つ月齢15ヶ月以上)～150cm までのお子さまを対象としたチャイルドシート[汎用型ベルト固定／i-Size プースターシート]です。

上記身長範囲外のお子さまにはご使用いただけません。

全ての車両に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。

車種適合表は下記 URL (ネビオ公式サイト) から確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

目次

■ ご使用いただく前に	2
■ 表示について	2
■ 目次	2
■ 安全にご使用いただくために	4
■ 取付けできる座席	6
■ シートベルトの条件	7
■ 取付けできない座席	8

■ 開梱時の組立方法	9
■ 梱包内容	11
■ 各部の名称	12
■ お子さまの身長に合わせた使用方法	13
■ ドリンクホルダー	
■ 取付け方法	14
■ 取外し方法	14
■ チャイルドシートモード	
■ 取付ける前の準備	15
■ 車両への取付け方法	16
□ チェックリスト	18
■ 肩ベルトの調節	19
□ 肩ベルト・腰ベルトのゆるめかた	19
□ 肩ベルト・腰ベルトのしめかた	19
■ ヘッドレスト(肩ベルト)の調節と位置の目安	20
□ ヘッドレストの高さ調節	20
□ 肩ベルト位置の目安	20
■ バックルの付け外し方法	21
■ ヘッドレストクッション・インナークッションの調節	22
□ 各部の名称	22
□ ヘッドレストクッション	22
□ インナークッション	22
■ お子さまを乗せる	23
□ お子さまを乗せる前の準備	23
□ チャイルドシートが正しく車両に取付けできているか確認	23
□ お子さまの乗せかた	24
□ チェックリスト	26
■ 車両からの取外し方法	27
■ ジュニアシートモードへの切替え(肩ベルト・バックルの収納方法)	28
■ 肩ベルト・バックルの戻しかた	30
■ ジュニアシートモード	
■ 使用条件	31
■ 車両への取付け方法	31
■ お子さまを乗せる	32
□ お子さまを乗せる前の準備	32
□ お子さまの乗せかた	33
□ チェックリスト	35
■ シートカバーの取外し方法	
■ ヘッドレスト	36
■ 背もたれ	37
■ ブースターシート	38
■ シートカバーの取付け方法	39
■ お手入れ	
■ シートカバーの洗濯方法	39
■ 本体のお手入れ方法	39
■ 製品情報	
■ 本体サイズ	40
■ 材質	40
■ 保管方法	40
■ 廃棄方法	40
■ 保証書	43

安全にご使用いただくために

危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けのできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰にならないよう注意してください。
- ・チャイルドシートモードでご使用の場合、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタンクが差し込まれていることを必ず確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、車両シートベルトが肩ベルトガイド・腰ベルトガイドを通り、車両バックルに差し込まれていることを必ず確認してください。衝突時、性能が十分に発揮できず大変危険です。
- ・車に取付ける際は、車両の取扱説明書および本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- ・車に取付ける際は、必ず車両シートベルトで取付けてください。
- ・必ず肩ベルトガイド、腰ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩から外れて危険です。

緊急時

緊急時は、保護者の方が車両シートベルトを外してすみやかにお子さまを解放し車外に脱出させてください。

警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席には取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席へ取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。
- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・チャイルドシートからの落下を防ぐため、車両シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤位置が確実に固定されるよう十分低い位置で装着してください。
- ・車両シートベルトに傷などがある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、お子さまの耳の上端が、チャイルドシートの上端より上になる場合は、使用しないでください。
- ・本製品のネジやナットなどを取外して、分解や改造を行わないでください。

- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- 短時間でもお子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。
- 極端な厚着や防寒具などの上から、車両シートベルトを装着しないでください。
シートベルトがゆるむ原因となります。
寒い場合は、シートベルトを装着した上から対策を行ってください。
- 梱包用の袋などは、お子さまがかぶらないよう放置しないでください。
- 同時に2人以上で使用しないでください。



注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- 直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。
日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- 走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。
本書に記載されていない使い方をしないでください。
- チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- お子さまだけで乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- シートカバーなどの縫製部分を外したまま使用しないでください。
また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。)
- 車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- 座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- 固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- 使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。

本製品は「汎用型ベルト固定／i-Size ブースターシート」です。

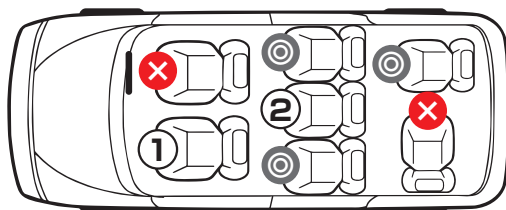
本製品は車両の取扱説明書に表示されている i-Size 適合車両着席位置で使用するものとして UN 規則 NO.129 に従って許可されています。



<i-Size 適合マーク>

本製品は、UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。

- 本製品の取付け方：前向き（進行方向）
本製品は下記の座席に取付け可能です。



- ◎ 正しい設置位置
- ✕ 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていなければ設置可能
- ② 3点式シートベルトを装備している場合のみ設置可能。

取付け方法	座席条件	使用
進行方向 (前向き)	前座席：エアバッグを装備していない車	取付け条件が満たされれば、取付けは可能ですが、本製品は運転席より後ろの座席に取付けることをお勧めします。
	前座席：エアバッグを装備している車	やむを得ず、前座席に取付ける場合は座席シートを一番後ろに下げた状態で取付けてください。
	後部座席の両側の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	後部座席の真ん中の座席	取付け条件が満たされれば取付け可能です。
	進行方向に対して横向きの座席	取付け不可
	進行方向に対して後ろ向きの座席	取付け不可

シートベルトの条件



注意

シートベルトの種類により取付けできない場合があります。
シートベルトの種類は、車両取扱説明書を確認してください。

本製品は、UN/ECE 規則 NO.16 に準拠している、または他同等の基準を満たしている3点式シートベルトを装備した車両に限り、使用に適しています。シートベルトの種類により取付け方が異なったり、取付けられない場合があります。



危険

3点式シートベルト以外の座席では絶対に使用しないでください。



使用可能なシートベルト

- ELR 付シートベルト
- ALR / ELR 付シートベルト



警告

2点式シートベルトの座席では使用できません。



ポイント

車種適合表につきましては下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>

シートベルトの種類と特徴		取付け方法と注意事項
種類	特徴	
ELR 付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされます。	ゆっくりシートベルトを引き出してください。
ALR / ELR 付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付きです。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトの ALR 機能を作動させないでください。ベルトがゆるめられなくなり、窒息や重大な障害を受けるおそれがあります。
その他	上記特徴にあてはまらないもの	本製品は使用できません。

取付けできない座席



注意

下記条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用をしないでください。

- フロントエアバッグ装備の座席。
※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。
- 進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。
- 座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。
- 極端なバケットシート。
※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。
- シートベルトが付いていない座席。
- 2点式シートベルトの座席。
- パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは⇒車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置。
- 座席の凹凸が極端で、取付けた際に不安定になる座席。
- シートベルトに損傷がある座席。
- 座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本製品が接触する座席。



ポイント より安全に使用していただくために、後部座席での使用をおすすめします。



注意

本革の座席に使用すると、取付け跡が残る場合があります。

開梱時の組立方法

工場出荷時は、背もたれと座面が外れた状態で梱包しておりますので、背もたれを座面に取付けて使用してください。



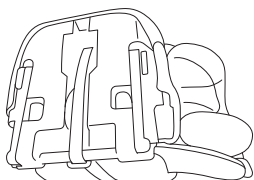
▶ 動画で解説

開梱時の
組立方法

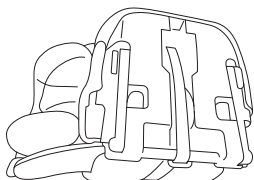
1 開梱時の状態

本製品は座面が横向きで、背もたれの上に重ねられた状態で梱包されています。

例 1



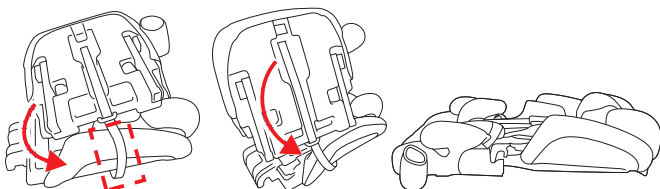
例 2



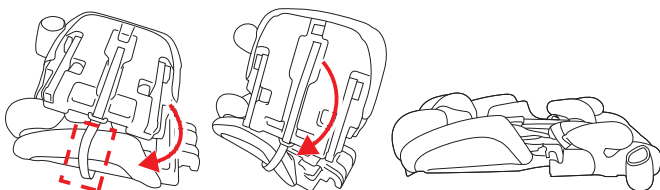
2

連結ベルトを目印に、座面が表向き・背もたれと水平になるよう、矢印方向に起こしてください。

例 1



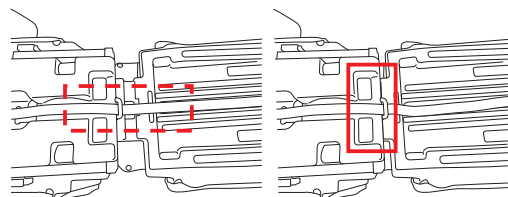
例 2



座面を誤った方向に起こさないでください。連結ベルトやハーネスがねじれ、使用する際に支障をきたします。

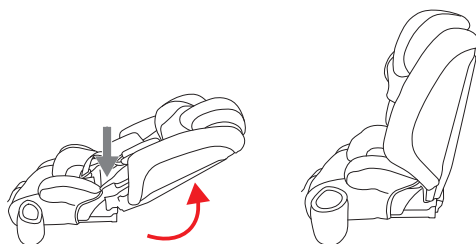
3

連結ベルトがねじれていないことを確認し、座面ジョイント連結部に背もたれジョイントを押し込んでください。



4

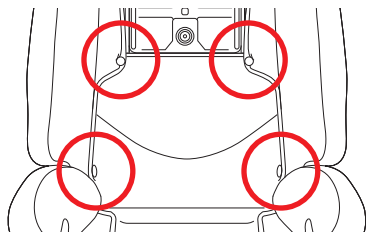
ジョイント部分を押さえながら背もたれを起こしてください。



※ブースターシート裏にゴムあり

5

背もたれカバーのボタン4箇所をとめてください。



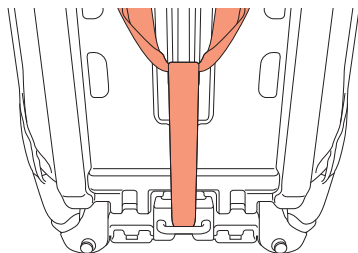
6 完成

ジョイントが完全にはまり、連結ベルトにねじれがないことを確認してください。



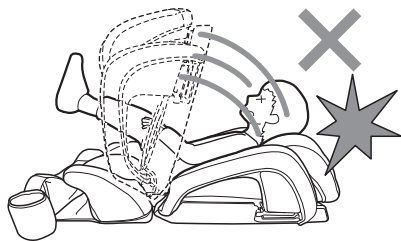
動画で解説

ベルトがねじれて
しまった場合



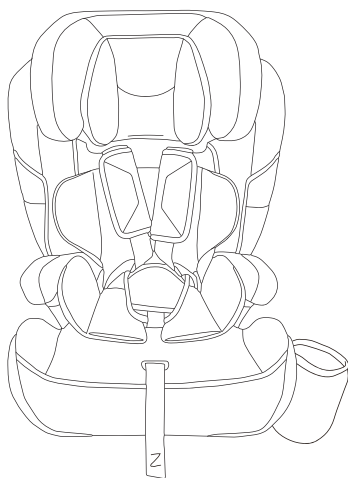
警告

本製品を車両シートへ取付ける前にお子さまを座らせないでください。
本製品の背もたれが倒れ重大な事故につながるおそれがあります。

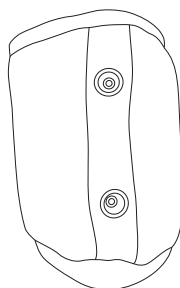


梱包内容

生産工程上、小さな樹脂片が本体内部に残り、傾けるとカラカラと音がする場合がありますが、使用・構造上の安全性に問題はありません。安心してご使用ください。



本体



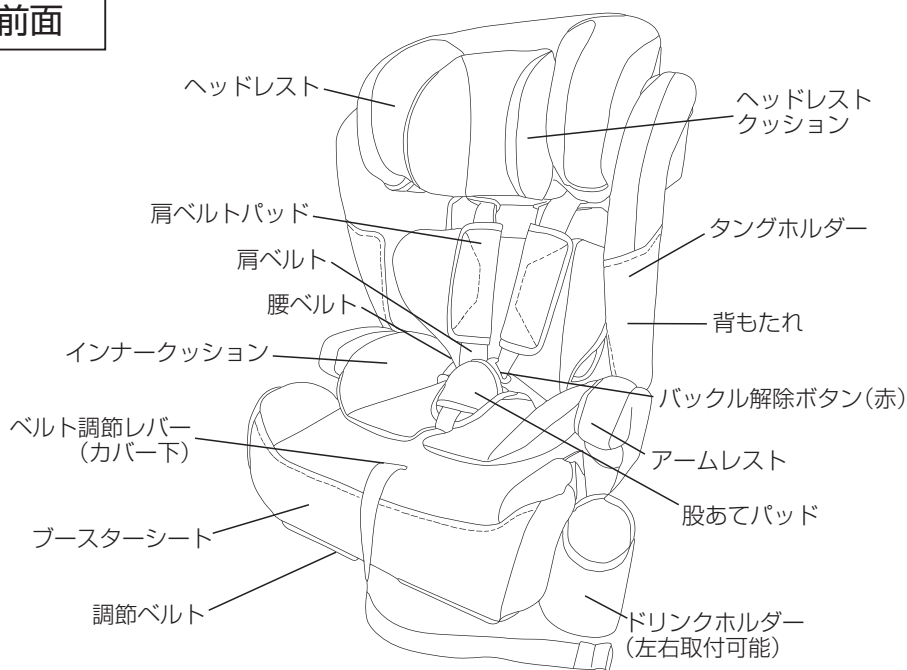
ドリンクホルダー

《5点式ハーネスとは》

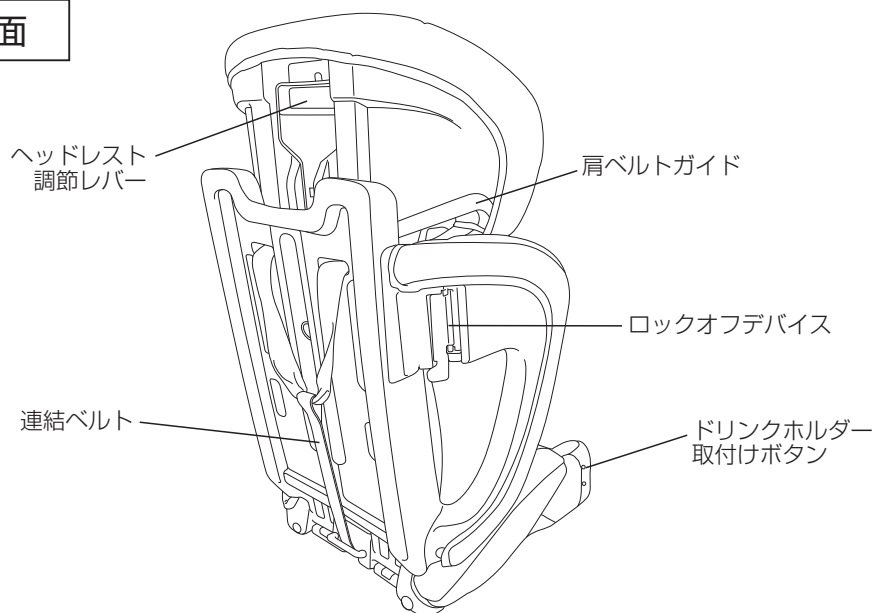
【肩ベルト】・【腰ベルト】・【バックル】をまとめて5点式ハーネスと呼びます。

各部の名称

前面



背面



お子さまの身長に合わせた使用方法

※本製品は子ども用拘束チャイルドシートです。

ECE R129/03 に合格

モード	チャイルドシートモード	ジュニアシートモード
使用の条件	身長：76～105cm 月齢：15ヶ月以上 体重：18kg未満	身長：100～150cm ※身長100cm未満のお子さまは 使用できません。
使用の状態		
取付け方法	3点式車両シートベルト + 5点式ハーネス	3点式車両シートベルト



警告

身長100cm未満のお子さまは必ずチャイルドシートモードで使用してください。



警告

お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。



危険

本製品のヘッドレストクッション・インナークッションは誤った取扱いをすると本来の機能を失わず大変危険です。必ず本書のP22(ヘッドレストクッション・インナークッションの調節)を確認し正しく使用してください。



注意

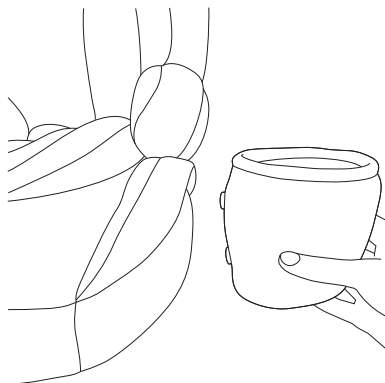
取外したヘッドレストクッション・インナークッションは車内に放置しないでください。※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドリンクホルダー

ドリンクホルダーは左右どちらにも取付け可能です。

取付け方法

ドリンクホルダーのボタンを、
本体側のドリンクホルダー取付けボタン
にグッと押し込んで留めてください。

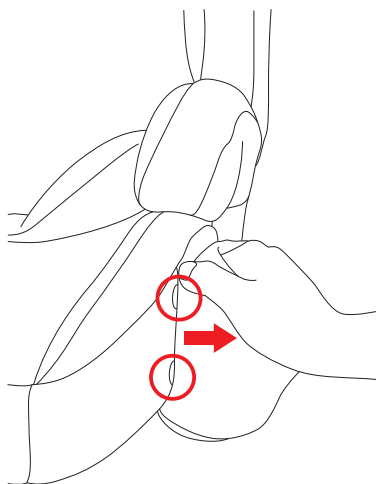


ポイント

外れないように、2箇所とも
しっかりと留めてください。

取外し方法

ドリンクホルダーのボタン付近を持って
1箇所ずつ引っ張って取外してください。



注意

- 取外す際、一気に引っ張るとボタンが破損するおそれがあります。
必ず1箇所ずつ外してください。
- 500ml以上の飲み物はいれないでください。
- ドリンクホルダー内の飲み物が安定していることを確認し、使用してください。
- 飲み物をドリンクホルダーに入れた状態で車内に放置した場合、飲み物が熱くなる可能性があります。

チャイルドシートモード

取付ける前の準備

車両側のヘッドレストが取外せる場合は取外してください。

※取外せない場合は、車両側のヘッドレストを一番高い位置まで上げてください。



注意

取外したヘッドレストは車内に放置せず、トランクルーム等で保管してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



警告

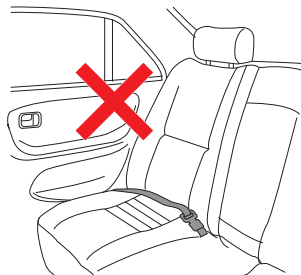
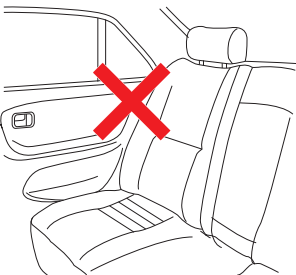
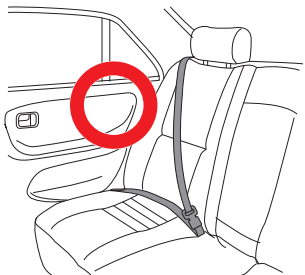
車両側のヘッドレストが本製品に干渉した状態で取付けしないでください。

※本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。



チャイルドシートモードで使用する場合は、あらかじめ本製品を3点式車両シートベルトで車両シートに取付け、固定してください。

※本製品の取付け・固定には、3点式シートベルト以外の車両シートベルトを使用できません。



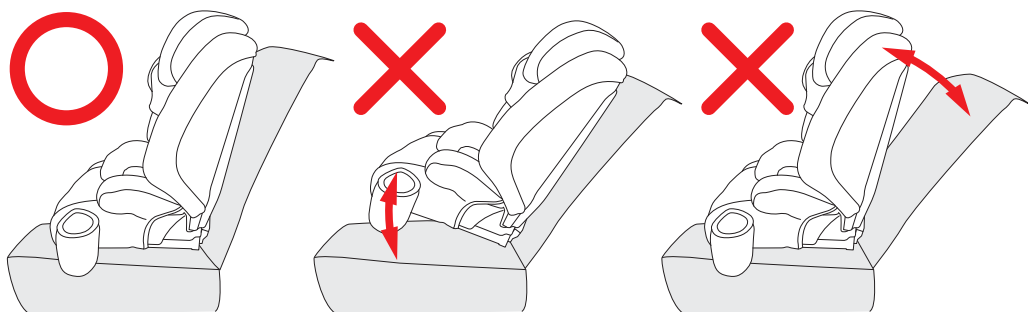
警告

- 本製品は、必ず車両シートに取付けてからお子さまを乗せてください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
※お子さまを乗せた状態で、車両に取付けしないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

車両への取付け方法



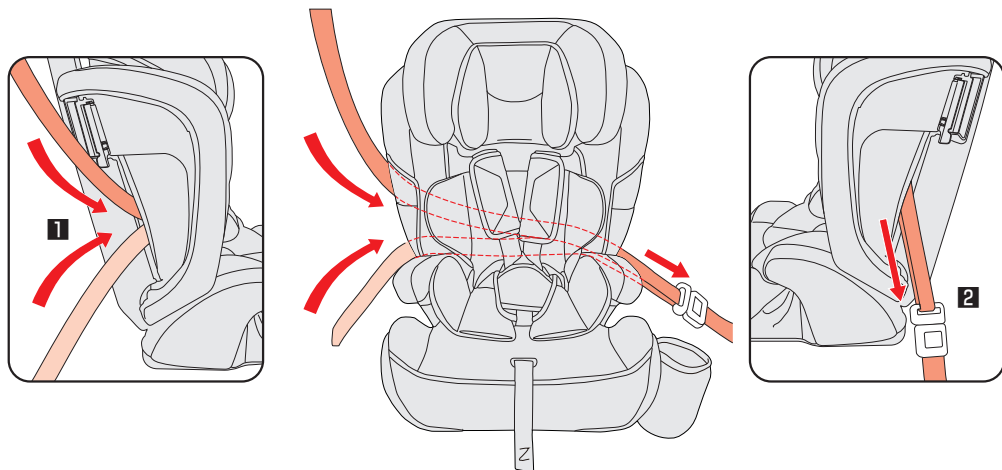
▶ 動画で解説
チャイルドシート
モード—車両への
取付け方法



注意

- 本製品のブースターシート底面が車両シートに接するようにしてください。
- 本製品の背もたれが、車両背もたれに接するようにしてください。

①設置する座席の車両シートベルトをねじらないようにゆっくりと引き出し **1** 本製品側面の背もたれカバーと本体の間に通して、**2** 車両シートベルトタングを車両バックルに差込み、固定してください。

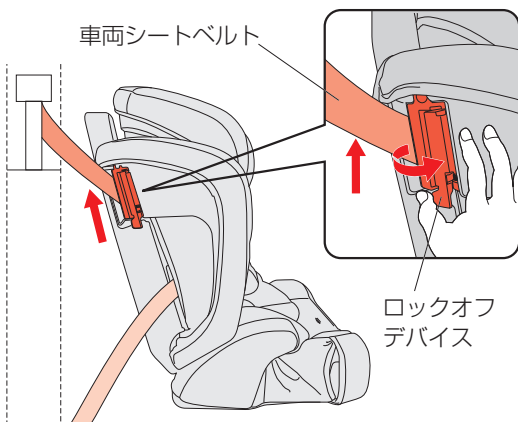


②ロックオフデバイスを開き、車両シートベルト(肩ベルト)を差し込んでください。



ポイント

ロックオフデバイスはバネで開閉し、ロックオフデバイスから手を離すと自動的に車両シートベルト(肩ベルト)を挟んだ状態で閉じます。



警告

車両シートベルトにねじれない事を確認してください。

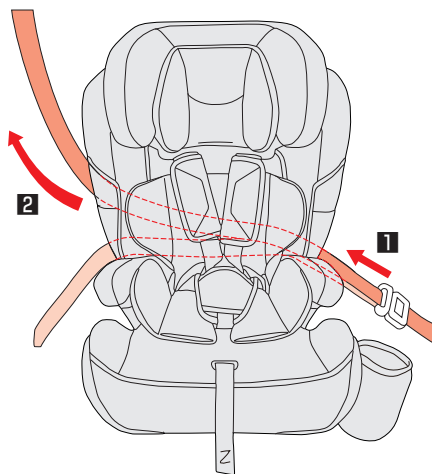
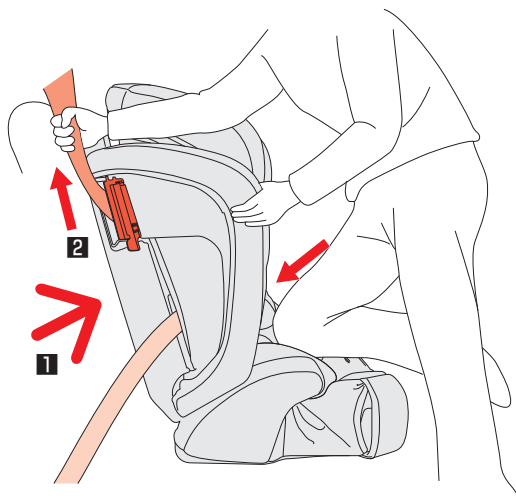
※本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。

③本製品の座面奥に片ひざを乗せて体重をかけ、車両の座席に本製品を沈み込ませながら **1** 車両シートベルト(腰ベルト)を矢印の方向に強く引き締め、次に **2** 車両シートベルト(肩ベルト)を矢印の方向に強く引き上げてください。



ポイント

車両シートベルト(腰ベルト・肩ベルト)は **1** **2** の順でできるだけ強く引き上げてください。**1** **2** の動作を数回繰り返して取付けてください。



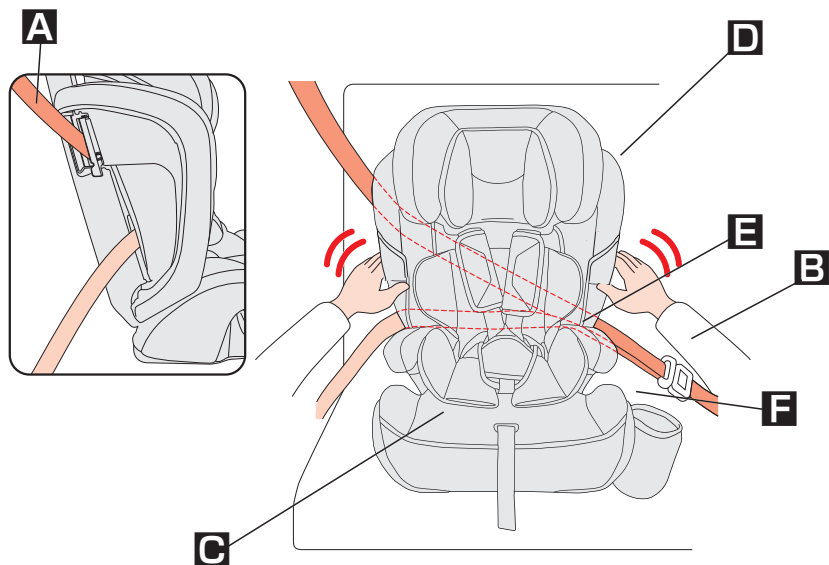
警告

車両シートベルトにねじれない事を確認してください。

※本製品が確実に固定できず、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。

☐ チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 車両シートベルト(肩ベルト)を、ロックオフデバイスで挟んでいること。
- ☐ **B** 本製品が、グラツキなくしっかりと固定されていること。
- ☐ **C** ブースターシート底面が、車両シートにしっかりと接していること。
- ☐ **D** 本製品の背もたれが、車両背もたれにしっかりと接していること。
- ☐ **E** 車両シートベルトに、ゆるみ・たるみがないこと。
- ☐ **F** 車両シートベルトタングが、車両バックルに確実に差し込まれていること。

肩ベルトの調節



動画で解説

肩ベルト
の調節



警告

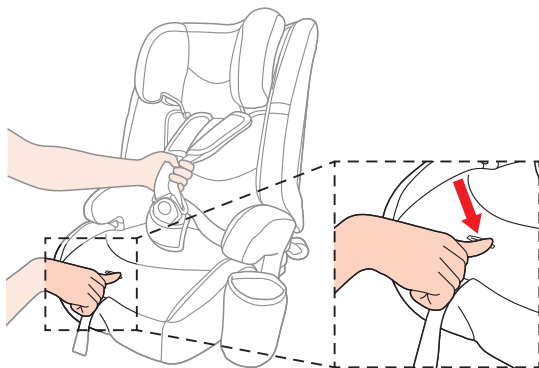
- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

肩ベルト・腰ベルトのゆるめかた

ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。



肩ベルト・腰ベルトのしめかた

肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認し、調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。

お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る程度に調節してください。



危険

- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

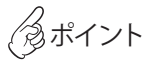
ヘッドレスト(肩ベルト)の調節と位置の目安

ヘッドレストの高さ調節



動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節

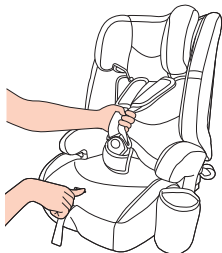
ヘッドレストの位置は11段階で調節可能です



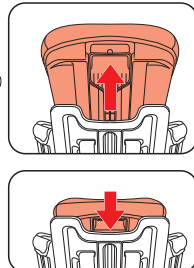
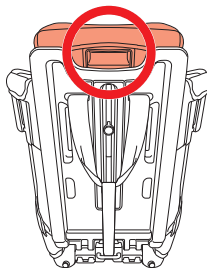
ポイント

ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P19 を参照してください。

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめます(P19 参照)。
※肩ベルトをゆるめる際は、肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。



②本体上部にあるヘッドレスト調節レバー(赤丸部分)を持ち上げながら、ヘッドレストを上下に動かし適切な位置に調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。



④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすき間に指が一本くらいとなります。



危険

肩ベルトの高さ調節をおこなう際、お子さまの頸部が締めつけられるおそれがあります。お子さまを乗せてから高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください。

バックルの付け外し方法



動画で解説
バックルの
付け外し方法



ポイント

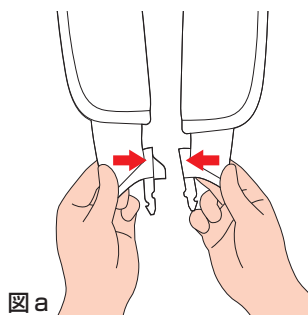
- バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしております。
- バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。
※組み合わせないと差し込めません。
- バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。

- ①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。
- ②お子さまをチャイルドシートに深く座らせます。
※インナークッションを使用する際は、各クッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。
- ③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。

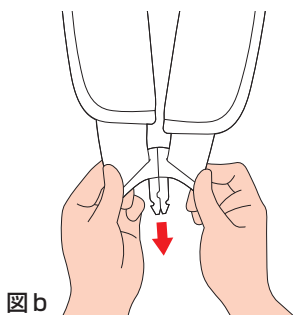
注意

左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

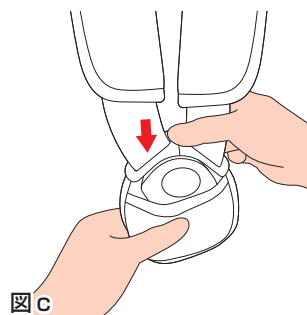
- ④左右のバックルタングを組み合わせてください(図a・図b)。
- ⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください(図c)。
※バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。



図a



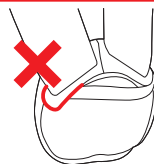
図b



図c

注意

バックルタングを差し込む際、股あてパッドが挟まらないよう注意してください。



警告

- タングを差し込んだ際、抜けないか必ず確認してください。
- タングを差し込んで、「カチッ」と音がしない場合は、絶対に使用せず当社まで連絡してください。

ヘッドレストクッション・インナークッションの調節



▶ 動画で解説

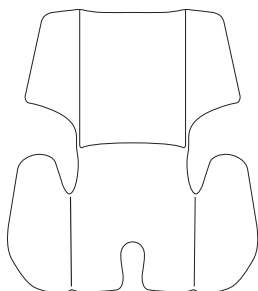
ヘッドレスト
クッション・インナー
クッションの調節

- チャイルドシートモードで使用する際は、「ヘッドレストクッション」「インナークッション」の使用を推奨します。
- 使用中、窮屈に感じたらお子さまの成長や体格に合わせて調節してください。

各部の名称



ヘッドレスト
クッション

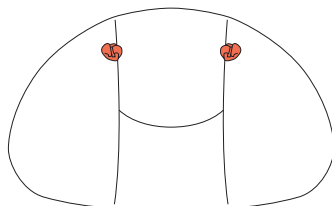


インナー
クッション



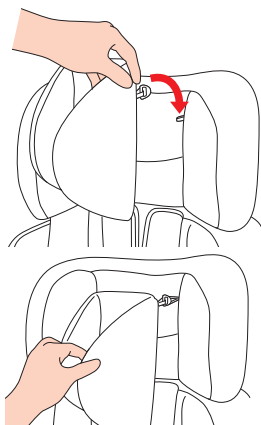
ポイント

ヘッドレストクッションは裏面に固定フックがついています。



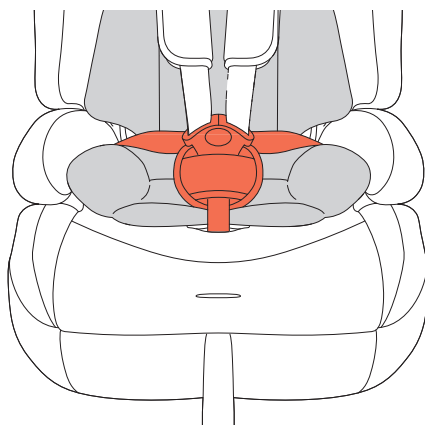
ヘッドレストクッション

本体ヘッドレストに付いているゴムにヘッドレストクッションの固定フックを引っ掛けてください。



インナークッション

インナークッションの形に合わせて、腰ベルト・バックル(図中赤)を合わせてください。



お子さまを乗せる



▶ 動画で解説
チャイルドシート
モード—お子さま
の乗せかた

使用条件

身長 76cm(尚且つ月齢 15ヶ月以上)～105cm のお子さまであること。
※月齢15ヶ月未満のお子さまには使用できません。
※チャイルドシートモードは体重18kg を超えるお子さまは使用できません。

取付け条件

チャイルドシートモードは下記の取付け方法で取付け、使用してください。
■ 3点式車両シートベルトで車両へ取付け。
■ お子さまの拘束は本製品の「5点式ハーネス」を使用。



警告

- お子さまの月齢が 15ヶ月を超えるまでは使用できません。
- チャイルドシートモードは体重18kg を超えるお子さまは使用できません。
※使用条件以外のお子さまが使用されると、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。

□ お子さまを乗せる前の準備



警告

- 本製品は、必ず車両シートに取付けてからお子さまを乗せてください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
※お子さまを乗せた状態で、車両に取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。



注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。
※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



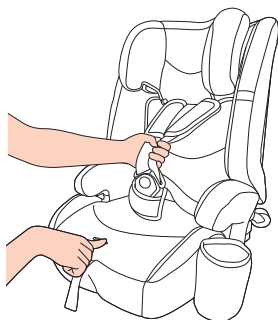
□ チャイルドシートが正しく車両に取付けできているか確認

- チャイルドシートが車両背もたれにしっかりと密着していること
(車両への取付け方法 P16 参照)
- 本製品のブースターシート底面が車両シートに接していること
(車両への取付け方法 P16 参照)
- 3点式車両シートベルトでしっかり固定されていること
(車両への取付け方法 P16 参照)

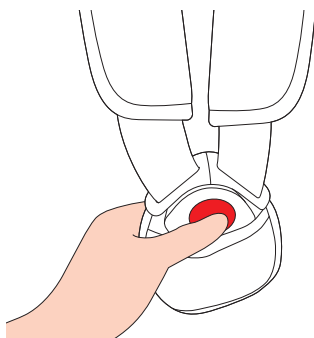
□ お子さまの乗せかた

①チャイルドシートの肩ベルトをゆるめてください。

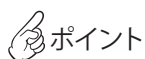
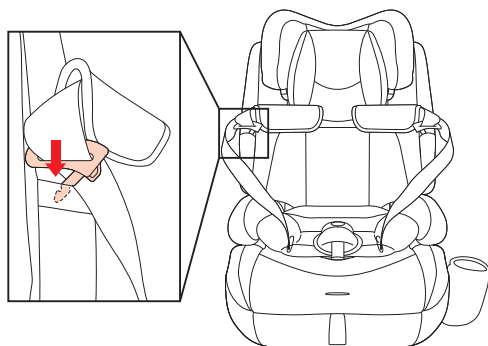
※肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトはゆるみません(肩ベルトの調節 P19 参照)。



②バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外してください(バックルの付け外し方法 P21 参照)。



③バックルタンクを左右のタンクホルダーに入れてください。



ポイント

- ・肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。
- ・タンクホルダーに入れにくい場合はヘッドレストを高くしてください。

④お子さまを深く座らせてください。

※お子さまがバックルの上に座っていないことを確認してください。



⑤タンクホルダーからタンクを外して肩ベルトをお子さまの腕に通してください。



⑥お子さまの体格に合わせてヘッドレストの位置を調節してください(ヘッドレスト(肩ベルト)の調節と位置の目安 P20 参照)。



⚠ 危険

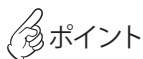
肩ベルトの高さ調節の際は肩ベルトにゆとりがあることを確認してから行ってください。
※お子さまの頸部が締めつけられるおそれがあります(ヘッドレスト(肩ベルト)の調節と位置の目安 P20 参照)。

⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をする際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないよう、優しく、ゆっくりと調節してください。

⑦左右の肩ベルトにねじれがないことを確認し左右のバックルタンクを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバックルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。
バックルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。



ポイント

・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないよう安全上、固くしておきます。

⚠ 警告

バックルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。

⑧肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に肩ベルトの長さを調節してください(肩ベルトの調節 P19 参照)。

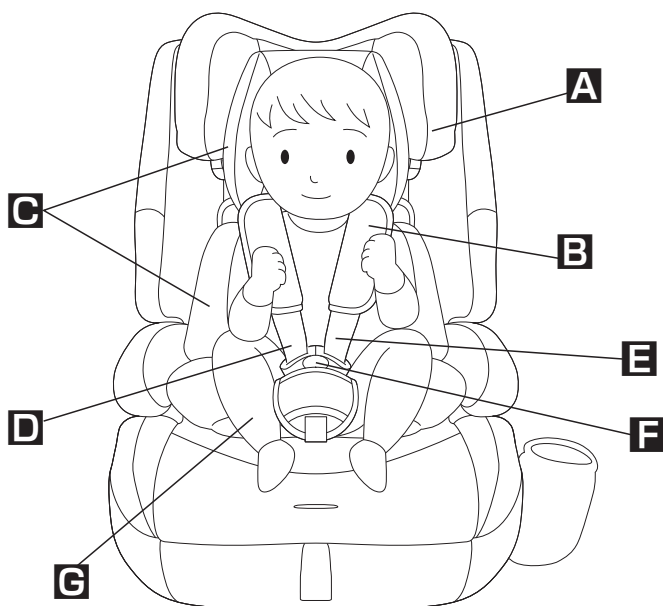


⚠ 注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなりおそれがあります。勢いよく引っ張らないでください。

□ チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- **A** ヘッドレスト(肩ベルト)が正しい位置に調節されていること。
※お子さまの肩とヘッドレストのすきまに指が一本入るくらい。
- **B** 肩ベルトがお子さまの肩にかかり、肩ベルトパッドがお子さまの首に当たる位置で調節されていること。
- **C** インナークッションとヘッドレストクッションが正しく取付けられていること。
- **D** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- **E** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- **F** バックルタングがしっかりとバックルに差し込まれていること。
- **G** お子さまがチャイルドシートに深く座っていること。



注意

お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。

車両からの取外し方法



動画で解説
車両からの
取外し方法

取外しは、取付けと逆手順で行ってください。

※ロックオフデバイスは手を離すと自動的に閉じるため車両シートベルトを外す際は、手を離さず作業を行ってください。

警告

- 本製品の肩ベルトやバックルを持って持ち上げたり、移動しないでください。
部品の破損や本製品の落下で、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品を持って移動する場合は、必ずベース部分を持つようにしてください。



ジュニアシートモードへの切替え(肩ベルト・バックルの収納方法)



▶ 動画で解説

肩ベルト・
バックルの収納



ポイント

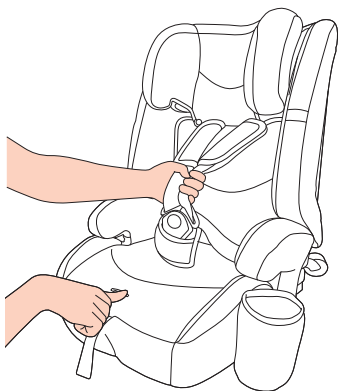
- ・ヘッドレストクッション・インナークッションは外してから作業する必要があります(ヘッドレストクッション・インナークッションの調節 P22 参照)。
- ・肩ベルトを外す際は、肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。



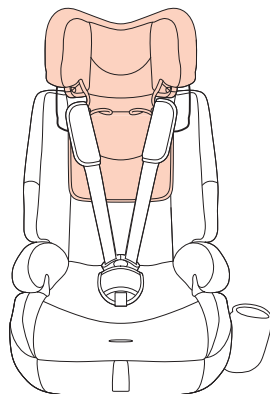
注意

カバーやボタン、クッションボード、面ファスナーは無理に引っ張らないでください。破れや破損の原因になります。

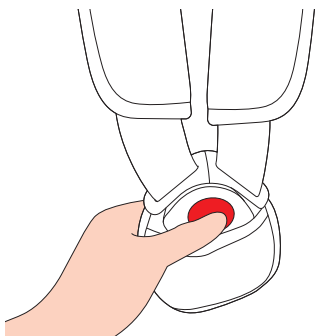
①肩ベルトをゆるめてください(肩ベルトの調節 P19 参照)。※長めに引き出してください。



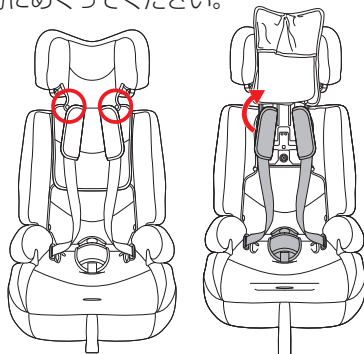
②ヘッドレストを一番上まで上げてください(ヘッドレスト(肩ベルト)の調節と位置の目安 P20 参照)。



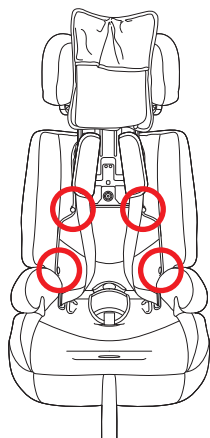
③バックル解除ボタン(赤)を押しバックルタンクを外してください(バックルの付け外し方法 P21 参照)。



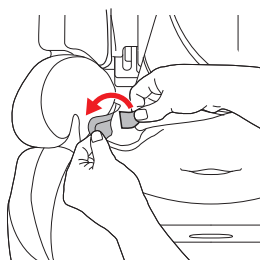
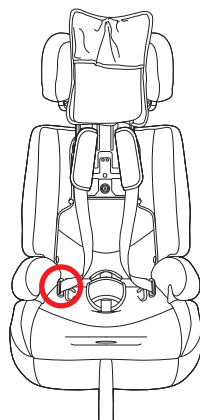
④肩ベルト付近にあるボタンを外してください。隙間から肩ベルトを抜いてカバーをヘッドレストの方にめくってください。



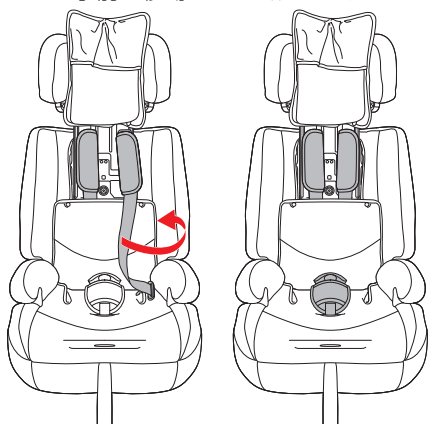
⑤背もたれ付近にあるボタンを外してください。



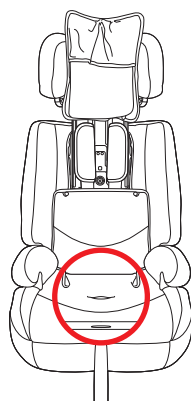
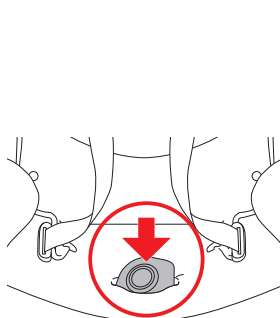
⑥背もたれカバー下部(腰部分)付近にある左右の面ファスナーを外してください。



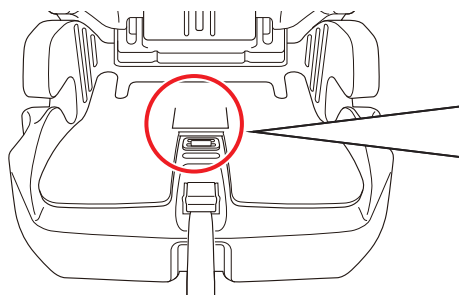
⑦面ファスナー付近の隙間から腰ベルトを抜いてカバーを手前に移動させてください。



⑧バックルを隙間から下に押し込んでください。
※股あてパッドも一緒に

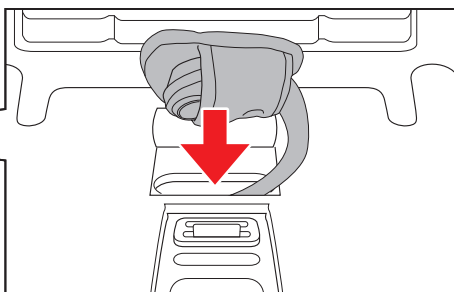


⑨座面カバーの下にあるバックル収納スペースへバックルを収納してください。

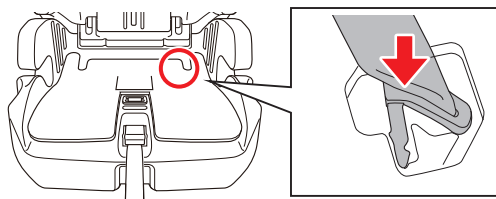


ポイント

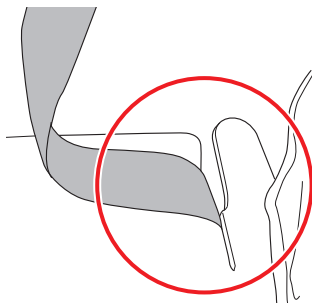
バックルは横向きに収納するとすっきりおさまります。



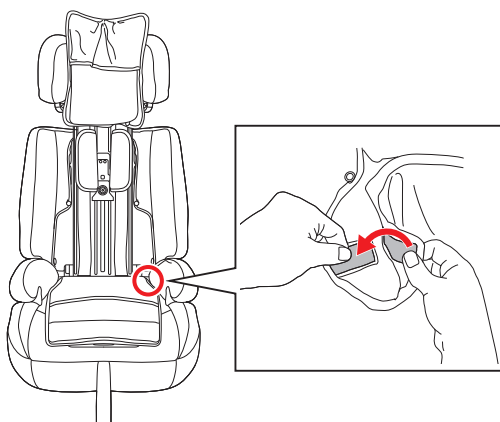
⑩左右のバックルタングは座面奥のカバー下にある収納スペースへ収納してください。



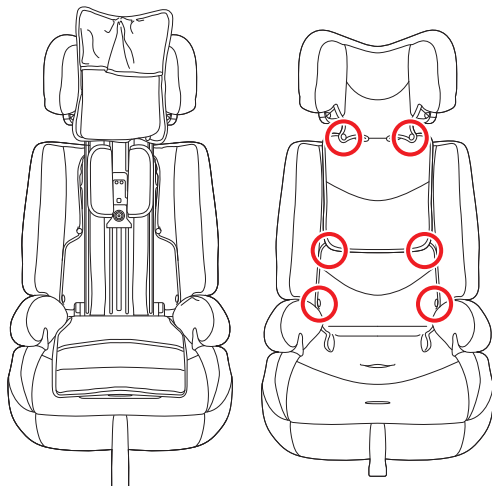
⑪肩ベルトはクッションボードの隙間に入れてください。



⑫背もたれカバー下部(腰部分)付近にある左右の面ファスナーをとめてください。



⑬上下のカバーを戻して、ボタン(6箇所)をとめてください。



ポイント 肩ベルトパッドは外さず、肩ベルトに装着したままカバー下で保管してください。

肩ベルト・バックルの戻しかた

肩ベルト・バックルの戻しかたは、収納の逆手順となります。



動画で解説
肩ベルト・バックル
の戻しかた

ジュニアシートモード

使用条件



警告

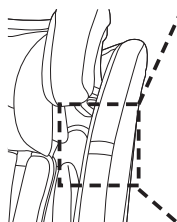
身長 100cm ~ 150cm くらいのお子さまであること。

※身長 76cm(尚且つ月齢 15 ヶ月以上) ~ 105cm のお子さまは「チャイルドシートモード」で使用してください。



ポイント

チャイルドシートモード(5点式ハーネス固定)かジュニアシートモード(3点式シートベルト固定)どちらでの使用が迷われた場合は、ヘッドレストの下部がサイドガードのオレンジ色の線よりも上か下かを目安にしてください。



3点式シート
ベルト固定

5点式
ハーネス固定

車両への取付け方法

ジュニアシートモードでは、お子さまは 3 点式車両シートベルトを装着します。



ポイント

ジュニアシートの場合、本製品を車両シートに設置してお子さまを座らせ、3点式車両シートベルトを装着します。そのため、お子さまが座っていない状態では本製品は車両シートに固定されません。



注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。

※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



お子さまを乗せる



▶ 動画で解説
ジュニアシート
モード—お子さま
の乗せかた

使用条件

身長 100cm ～ 150cm くらいのお子さまであること。
※身長 76cm（尚且つ月齢 15 ヶ月以上）～ 105cm のお子さまは「チャイルドシートモード」で使用してください。

取付け条件

■ 車両シートベルトで車両に取付け。



警告

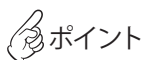
使用条件以外のお子さまが使用されると、衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。

□ お子さまを乗せる前の準備



警告

- 本製品は、必ず車両シートに取付けてからお子さまを乗せてください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。
※お子さまを乗せた状態で、車両に取付けないでください。
- お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず車両シートベルトで固定してください。
※車内に転がって運転の妨げとなり思わぬ事故につながるおそれがあります。

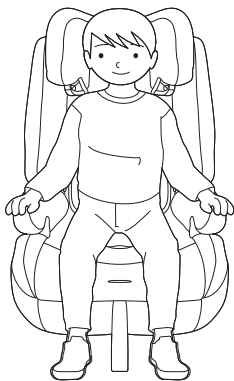


ポイント

ジュニアシートモードでは、本製品の5点式ハーネスは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します（肩ベルト・バックルの収納 P28 参照）。

□ お子さまの乗せかた

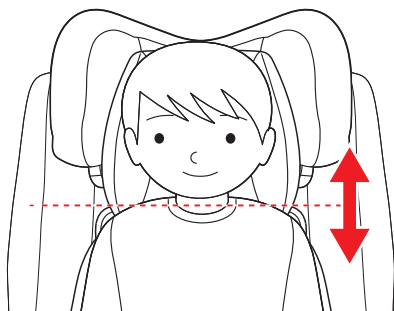
①お子さまを深く座らせてください。



⚠ 注意

お子さまの背中とお尻が本製品の背もたれに密着するよう深く座らせてください。

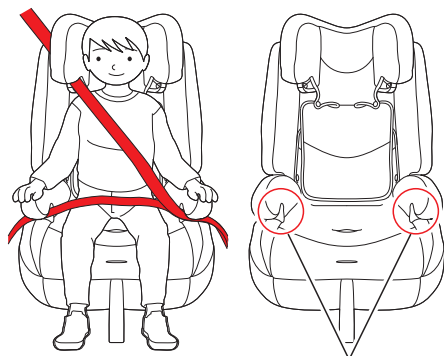
②ヘッドレスト調節レバーでヘッドレストを調節してください。



⚠ 注意

肩ベルトガイドをお子さまの肩より少し上で調節してください。

③車両シートベルト(腰ベルト)が左右の腰ベルトガイドを通して車両バックルに差し込んでください。

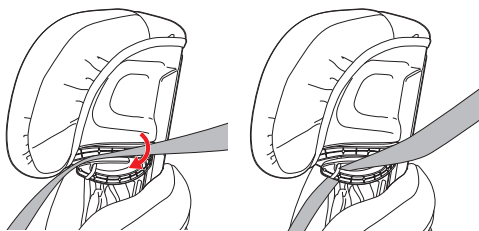


腰ベルトガイド

⚠ 注意

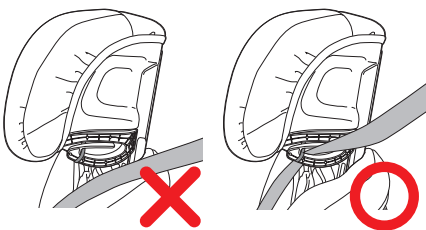
お子さまの骨盤の上に車両シートベルト(腰ベルト)を通してください。

④車両シートベルト(肩ベルト)を肩ベルトガイドに通してください。

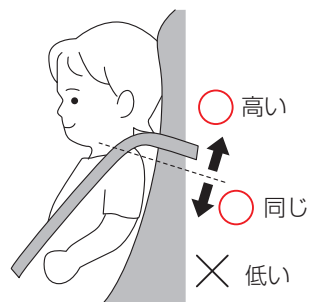


⚠ 警告

車両シートベルトは必ず、肩ベルトガイドの中を通してください。



⑤ヘッドレストの高さ調節で車両シートベルト(肩ベルト)がお子さまの肩と同じか、肩より高い位置に調節してください。



⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をする際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないよう、優しく、ゆっくりと調節してください。

⚠ 危険

- 車両シートベルト(肩ベルト)がねじれていないことを確認してください。
- 肩ベルトガイドはお子さまの肩と同じ、又は高い位置に調節してください。

⚠ 危険

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際は、お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

⚠ 危険

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり、外さないよう注意してください。

⚠ 注意

お子さまが成長し、肩の高さが肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、身長が適応範囲内でも本製品の使用を中止してください。

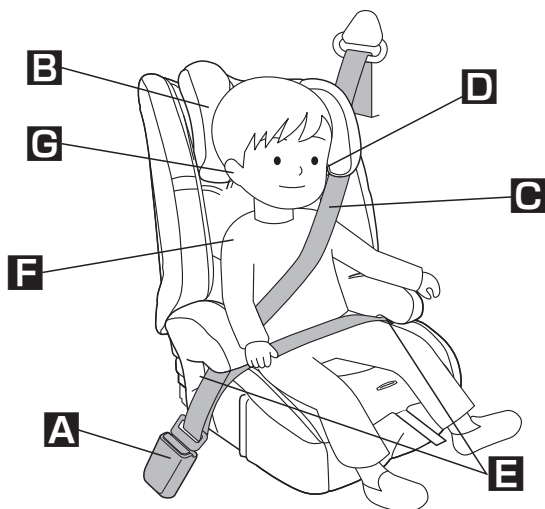
⚠ 注意

お子さまが乗っていない場合でも本製品を車両シートベルトで固定してください。
※走行中の急ブレーキや衝突時の衝撃などでけがをしたり、運転の妨げになる可能性があります。



□ チェックリスト

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

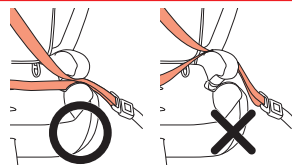
- ☐ **A** 車両シートベルトが、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込まれていること。
- ☐ **B** ヘッドレストが、正しい高さに調節されていること。
※肩ベルトガイドがお子さまの肩より少し上になっていること。
- ☐ **C** 肩ベルトと腰ベルトに、ゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ☐ **D** 肩ベルトが、肩ベルトガイドを確実に通り、お子さまの肩にかかっていること。
- ☐ **E** 腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドを確実に通っていること。
※お子さまの骨盤の低い位置を通っていること。
- ☐ **F** お子さまの背中とお尻が背もたれに密着するよう、座席に深く座っていること。
- ☐ **G** お子さまの耳の上端が、チャイルドシートの上端よりも下になっていること。

⚠ 警告

- ・お子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを、必ず確認してください。
- ・お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。
車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

⚠ 注意

車両シートベルト(肩ベルト、腰ベルト)がアームレストの下を通っていることを確認してください。



シートカバーの取外し方法

ヘッドレスト

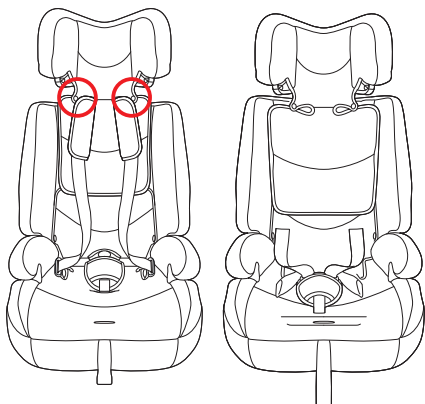


動画で解説
シートカバーの
取外し方法—
ヘッドレスト

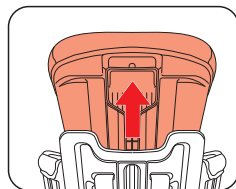
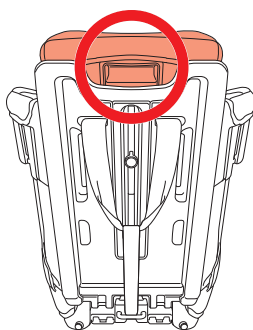


ポイント ・肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。

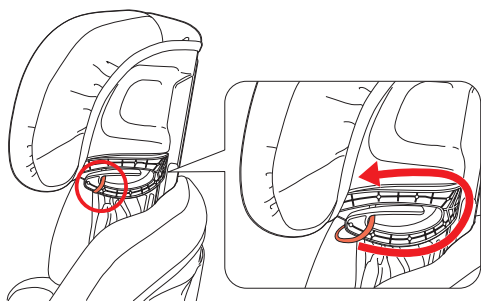
①肩ベルト付近にあるボタン（2箇所）を外して隙間から肩ベルトを抜いてください。



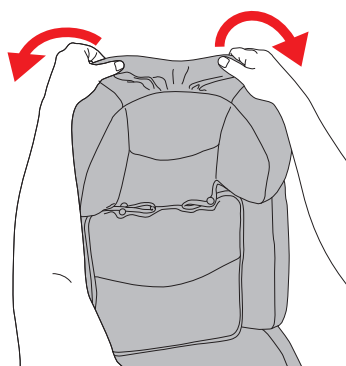
②ヘッドレスト調節レバーでヘッドレストを一番高い位置まで上げてください。



③肩ベルトガイドのひもを左右ともに外してください。



④ヘッドレストカバーを上部からめくるように取外してください。



⚠注意

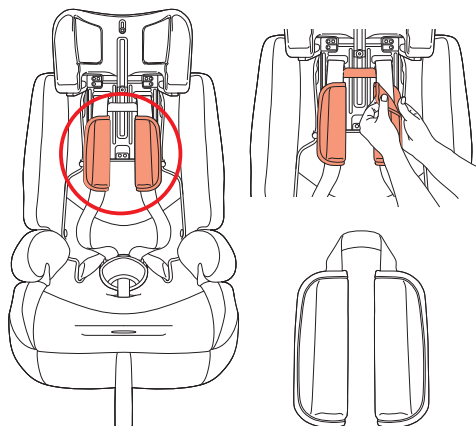
ひもを外す際は、ひもが切れないよう注意してください。

背もたれ

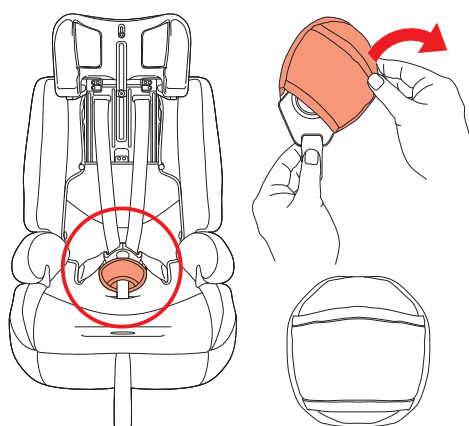


▶ 動画で解説
シートカバーの
取外し方法—
背もたれ

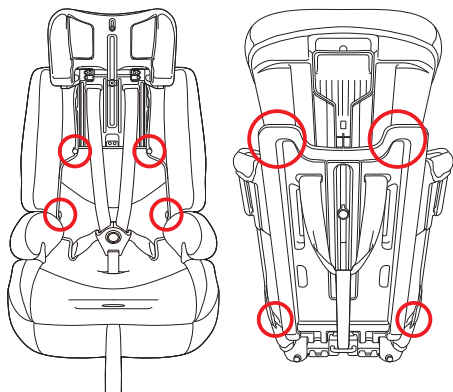
①肩ベルトパッドの面ファスナーを外し肩ベルトパッドを取外してください。



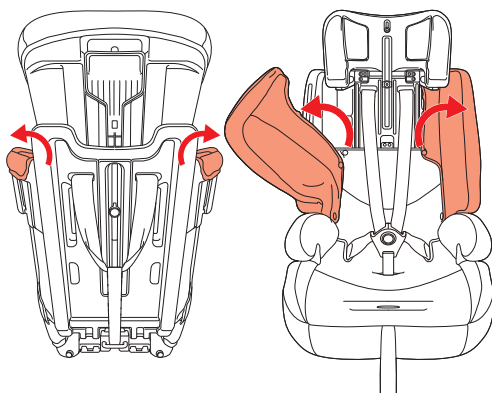
②バックルを解除し、股あてパッドを取外してください。



③背もたれ付近にあるボタン(4箇所)と背面下部にあるフック(2箇所)からひもを外してください。



④背面側からカバーを取外してください。
※カバーは左右に分かれています。



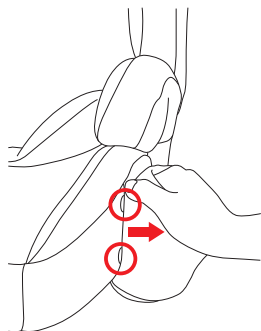
注意

ひもを外す際は、ひもが切れないよう注意してください。

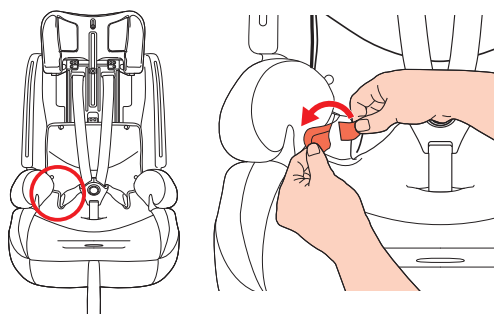


動画で解説
シートカバーの
取外し方法—
ブースターシート

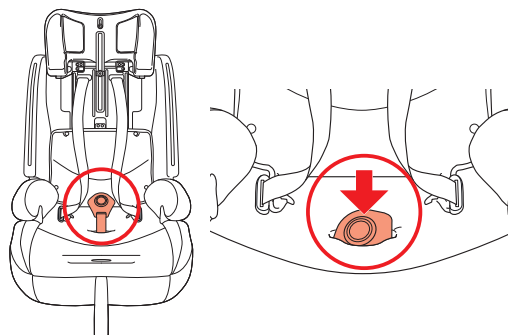
①ドリンクホルダーを外してください。



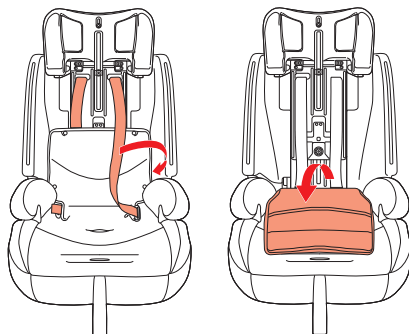
②背もたれカバー下部(腰部分)付近にある左右の面ファスナーを外してください。



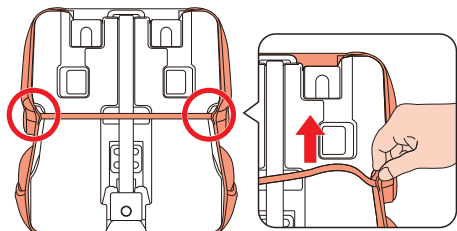
③バックルタングを外し、バックルを隙間から抜いてください。



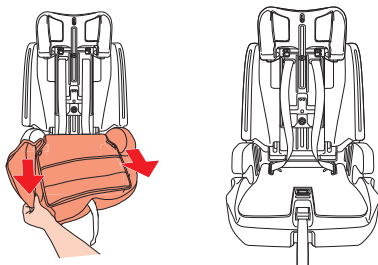
④面ファスナー付近の隙間から腰ベルトを抜いてカバーを手前に倒してください。



⑤座面裏にあるフックから左右のひもを外してください。



⑥両側のアームレストを持ち、カバーを外してください。



注意

ひもを外す際は、ひもが切れないよう注意してください。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。



注意

シートカバーを取外した状態で使用しないでください。



動画で解説

シートカバーの
取付け方法

お手入れ



注意

本製品のお手入れは【洗濯機使用不可】です。
シートカバーが縮む可能性があります。必ず手洗いでお手入れしてください。

シートカバーの洗濯方法

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
手洗い後は、乾いた布で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



注意

カバー内や、カバー下にあるクッションボードは洗えません。
洗濯の際は布部分のみ、もみ洗いしてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し

本体のお手入れ方法

固くしぼった布で水ぶきしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。



注意

クッションボード部分は、強い力で拭くと、破れたり破損するおそれがあります。
優しく拭き、しっかりと乾燥させてください。

製品情報

本体サイズ

奥行き：約 59cm

幅：約 44cm

高さ：約 59cm

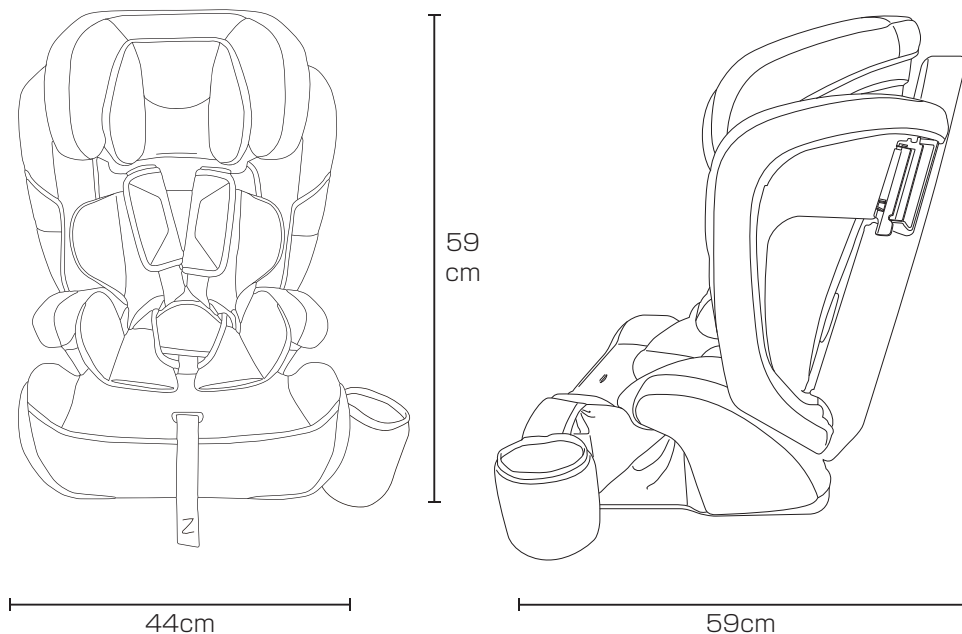
材質

本体：高密度ポリエチレン(HDPE)

カバー：ポリエステル(PE)

クッション：発泡ポリエチレン(EPE)

ドリンクホルダー：ポリエステル(PE)



保管方法

- 安全で乾いた場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- お子さまの手の届かない場所で保管してください。
- 本製品に重いものを置かないでください。
- 付属のカップホルダーも一緒に保管してください。

廃棄方法

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- 衝突事故で本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- 再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。